



## 【土木部門】 発注する工事や業務の設計や積算、施設操作の基本を習得

### 研修の内容

- 「水のプロ」技術者としての使命、役割、誇りの伝授
- 機構が発注する各種工事や業務の設計や積算に必要な知識と演習
- 専門的な技術用語の解説
- 適切な施設管理や操作を習得する実地研修



施設管理の講義



早明浦ダムにて実地研修



座学内容を現場で確認



工事現場を確認



先輩職員からアドバイスを受けながら積算実習

### 研修の特徴

講師が現場に出向くプッシュ型かつ少人数制の研修とし、受講生のスキルに合わせてフォローアップできる体制としました。より理解を深められるよう講義(座学)で勉強したものを現場で体験してもらいました。



草木ダム管理所  
**藤澤 大志**

若手職員の  
声

計5日間にわたり、講義、演習及び現場体験を通して水資源機構職員として必要な知識・技術を基礎から噛み砕いてご講義いただきました。特に私は機械損料の計算に苦手意識を持っていましたが、損料を導き出すプロセスから丁寧に説明いただき、積算についての理解が大変深まりました。今後は、更に自信を持って積算業務に当たることができると思います。



ダム業務に関する  
「水のプロ」  
**後藤 浩一**

ベテラン講師の  
声

ダムの基礎知識に関するフォローアップ塾は、ダムや積算の基礎知識を習得してもらい、今後の実務に生かしてもらうことを目的として、受講生が日頃から慣れ親しんだ事務所で行うことで、緊張せず研修を行うことができました。こちらからの一方的な講義のみでは、受講生が講義疲れしてしまうことを考慮し、研修の中に演習を多く取り入れて、受講生に解いて貰うことを行い、大変好評でした。



## 【設備部門】 施設の操作に必要な様々な設備の点検や障害発生時の基本を習得

### 研修の内容

- 施設管理に携わる職員が知っておくべき各種設備の機能
- 実際の設備点検を通じた実習と障害に備えた対応
- 設備に係る各種業務や工事の設計や積算施工に必要な知識と演習

### 研修の特徴

対象設備に対する点検者の習熟が重要なことから、実際の点検を通じて、技術の習得を図っています。設備設計や施工について講習会を実施することで、より良い点検や障害等に備えて、技術力向上を目指しています。研修はweb配信により、機構職員誰でもが参加できるようにしています。



点検する設備の動作状況を実際に確認



機械設備業務に関する  
「水のプロ」  
**波多野 志郎**

ベテラン講師の  
声

研修資料は、建設当時の設計思想や様子、出来事などを、写真、図などを使って、見て分かり、後々のための記録、備忘として活用できるように工夫を凝らしました。研修後に実際の設備を点検することで、研修内容がより記憶に残り、深い理解につながることを期待しています。

# 若手職員の人財育成をめざして

## —「人財育成室」開設と取組みのご紹介—

「水のプロ集団」として機構の技術力を継承していくため、各部門の業務経験が豊かな「水のプロ」の職員が、若手職員に寄り添い、きめ細やかなフォローを行う拠点として「人財育成室」を開設しました。

若手職員が自身のスキルを向上させることで自信を持って仕事に取り組む姿のエンパワー (Empower) と水のプロ集団を組み合わせた“Empower 水 pro”をキャッチフレーズに令和5年度から始動しています。

### 「人財育成室」 の誓い

- 一. 若手職員を重点的にフォロー  
各種業務の基礎知識をしっかりと学べるよう「フォローアップ塾」を実施
- 一. 若手職員に自信とやりがいを  
ベテラン職員の長年にわたり積み重ねられた豊かな経験を伝承
- 一. 職員一人ひとりを大切に  
職員一人ひとりがより活躍できるよう対面して業務上の悩みや相談に対応

機構が担う役割を達成するため、多岐にわたる様々な業務があります。若手職員がはじめて携わる業務の基本をしっかりと理解でき、悩みを解消してよりよい業務遂行につながるよう、各部門ではそれぞれ研修やフォローアップを実施しています。実際に行っている研修の一部をご紹介します。



## 【用地部門】 機構職員として、必要な用地業務の基本を習得

### 研修の内容

- 機構職員として知っておくべき土地に関する基礎知識や地元関係者との交渉術
- 適正な土地の管理に必要な登記記録や境界標の確認方法と現地実習

### 研修の特徴

巻尺などの測量器具を使用して実際に境界標を確認する作業や、オンラインシステムを利用して電子化された登記記録を閲覧するなど、受講生が能動的に受講できるカリキュラムを取り入れました。チームで作業に当たることでチームワーク力の育成にも配慮しました。



オンラインシステムを使って登記情報の収集実習



現地実習に向けて管理図で境界標の位置を確認



現地で管理図の情報をもとに境界標の探索実習



木津川ダム総合管理所  
川上ダム管理所  
**松本 彩菜**

若手職員の  
声

日頃の業務では、直接的に用地に関わる機会がなく知識がないまま研修に臨みましたが、日常生活や日頃の業務においても用地に関わっていることを知り、調査等の監督をする際にも用地について意識しトラブル等の防止に努めようと思いました。また、普段の業務ではあまり体験できない、現地に行き杭を探す体験ができ、その難しさを理解することができました。



用地業務に関する  
「水のプロ」  
**杉浦 正人**

ベテラン講師の  
声

本研修の受講生は、用地業務未経験者ばかりですが、初めて聞くこと、初めてやることにもかかわらず、とても熱心に興味を持って研修を受講されていました。用地の仕事が社会生活の延長線上にあることを、分かりやすい言葉で話すことを心がけました。